

科 目 名

技術者倫理 I Ethics for Civil Engineers I

4年 前期 2単位 選択

上 杉 真 平

概 要

社会基盤の整備や新しい環境を創造する技術者には、保有する技術を人類や社会の利益のために活用する際に、「技術者としての行為の善悪・正不正を判断する規範」としての技術者倫理が求められる。本講義では、技術者として社会に貢献するための正しい倫理観の育成を行う。

目 標

- ① 技術経営（MOT）において、倫理的配慮が不可欠であることを認識し且つ説明できる。
- ② 技術者倫理に関連する問題を認識し、その解決策を考案し且つ体系的に評価できる。
- ③ 技術経営（MOT）を行う上で、倫理プログラムを制度設計し且つ説明できる。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 序論	俯瞰（目的、定義、事例 等）
② なぜ技術者は特別の責任を負うのか	プロフェッションと技術者倫理
③ 行為の拡大と新しい倫理の必要性	価値判断、情報倫理、生命倫理、環境倫理
④ 技術者として如何に行動すべきか(1)	倫理的思考、倫理的考察
⑤ 技術者として如何に行動すべきか(2)	倫理綱領の歴史と機能
⑥ 技術者として如何に行動すべきか(3)	倫理的問題解決法、倫理的意志決定
⑦ 技術者にとって法律とは何か	PL 法、独禁法、産業財産権、著作権法
⑧ 企業における技術者責任と権利	技術者の責任とその範囲及び権利と義務
⑨ 企業倫理と技術者倫理	企業理念と倫理、企業と技術者の整合性
⑩ 技術者にとっての安全性	安全性という価値
⑪ 技術とリスク	リスクの認識と評価、社会的合意形成
⑫ 優れた意志決定をもたらすもの	公衆の安全・健康・福利に基づく意志決定
⑬ 国際社会における技術者の倫理	国際技術倫理綱領、価値体系、異文化間問題
⑭ 総括	事例研究とグループ討議
⑮ 単位認定試験	

授業方法

テキスト及び補助教材を用いて講義し、グループ討議を通して達成度を確認する。

学習達成度の評価

- ① 授業中に適宜質問をして理解を促し、授業終了後に質問を受けて講義を補足する。
- ② 適宜、レポート等を課して講義の理解及び発展学習を促す。
- ③ 授業評価及び自己評価の結果を参考に、今後の授業構成に反映する。

評価方法

レポート及び講義に臨む態度（熱意）を総合的に判定して評価する。

教 材

教科書：自作テキスト

参考書：礼野 順「技術者倫理」 日本放送出版協会

中村収三「実践的工学倫理」 化学同人

野城智也「実践のための技術倫理」 東京大学出版会